



LIXIL ヴィア・ル シリーズ

タッチ&ノータッチ門扉



取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等への危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

-  **ポイント**
 - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
 - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
 - 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
 - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

警告

- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。
特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- コントローラ用配線を除く配線および埋設管は、現場で手配してください。
- 埋設管には、PF管を使用してください。
- 地中電線路の配管には、将来掘り起こすことがない場所を選んでください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- 2線配線式の場合、詳しい内容については、電気錠操作ユニットの説明書を参照してください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

<2線配線式について>

⚠ 注意

- 取付説明書「タッチ&ノータッチキー門扉 -2線化変換アダプターセット- (T007)」を必ず参照してください。






<電気配線工事について>

⚠ 注意





- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の器具は、D種接地工事を行なってください。
- 落雷時の器具破損、誤作動防止のため、家屋から通電金具間は架空配線をしないで地中配線にしてください。
- 家屋から通電金具までの配線および施錠スイッチへの配線は、別の100Vおよび200Vの配線と交差して配線しないでください。平行に配線する場合は、500mm以上離してください。また、埋込配線の部分は、100Vおよび200V電源とは別配管にしてください。
- 配管距離が長い場合、また曲がり角が2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けてください。
- ハンドホール内で電線の接続は行なわないでください。
- 配管内に水が侵入しないように、パテなどでふさいでください。
- スリーブの固定は、必ず専用の工具でカシメてください。
- PF管・2コ用スイッチボックス深型カバー付きは現場で別途手配してください。

■ 梱包明細表


【1】 扉本体

名称	略 図	員 数		
		配線式		
		掛扉		受扉
H14	H16			
扉本体		1	1	1
1コ用スイッチボックス 通電金具用		1	1	-
タッチキーリモコン（※1）		2	2	-
キー（※1）		4	4	-
お出かけサムターン（※1）		2	4	-
取付説明書<A466>	-	1	1	-
取扱説明書<UA175>	-	1	1	-

【2】 室内メインコントローラー







名称	略 図	員数
室内メインコントローラー		1
プレート		1
プレート枠		1
【2-1】 M4×25サラ小ネジ		4

【3】 コントローラー配線用

名称	略 図	員数
コントローラー用配線		1


【4】 増設スイッチ

オプション

名称	略 図	員数
増設スイッチ		1
コードB		1
増設配線コード		1
プレート		1
プレート枠		1
【4-1】 M4×25サラ小ネジ		4

【5】 タッチキー

オプション

名称	略 図	員数
タッチキーリモコン（※1）		1

※1 施工終了後に、必ず施主様にお渡しください。

1. 配線方法

1-1 配線図

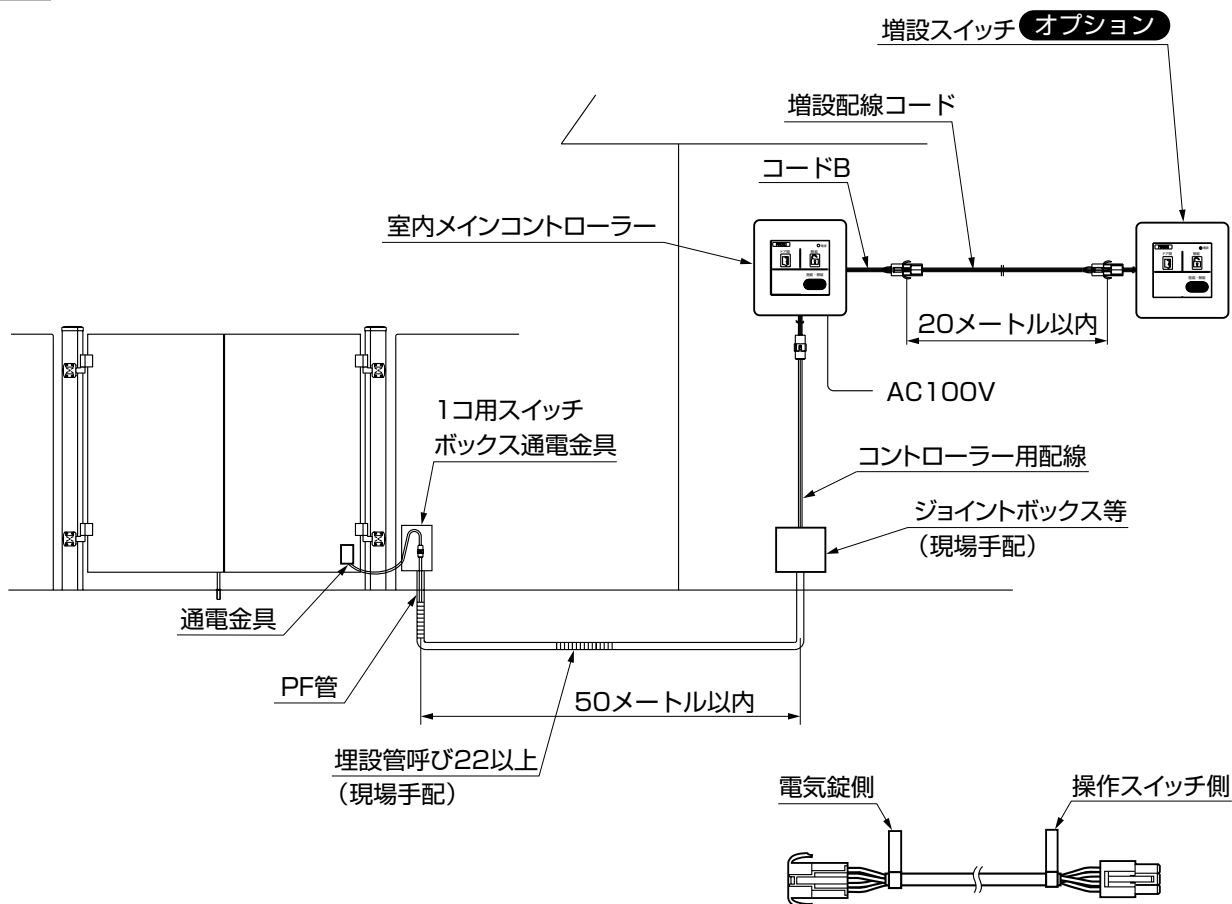


図1-1 コントローラー用配線

ポイント

- コントローラー用配線には、方向がありますので埋設する際、注意してください。（図1-1参照）
 - 埋設管の呼び径は、22以上のものを使用してください。呼び径が小さい場合、コントローラー用配線のコネクター部分が通らなくなります。
 - ジョイントボックスは、配線引込み用です。専用のコントローラー用配線は切断しないでください。
 - コントローラー用配線の長さは50メートルです。
 - 配線が余る場合は、屋側または、門扉付近の空いたスペースに束ねて長さを調整してください。
 - 配線を切りつめる場合は、下記内容に注意して実施してください。
 - ・コネクターはそのまま使用し、電線の途中部分（キャプタイヤ部分）を切断してください。
 - ・切断したケーブルは、キャプタイヤの被服を剥き、芯線の色をあわせて接続してください。
 - ・接続はスリーブなどにより確実に行ってください。
 - ・接続部には、必ず防水テーピングを施してください。
- なお、接続方法の詳細は、「内線規程（JEAC8001-2000）1335-7～9」に準じて実施してください。
接続が不十分な場合、誤作動や漏電による作動不良の原因になります。

補足

- コードB、増設配線コードは増設スイッチに付属しています。
- 増設スイッチは2台まで増設可能です。
- 増設配線コードの長さは20メートルです。

1-2 通電金具の配線

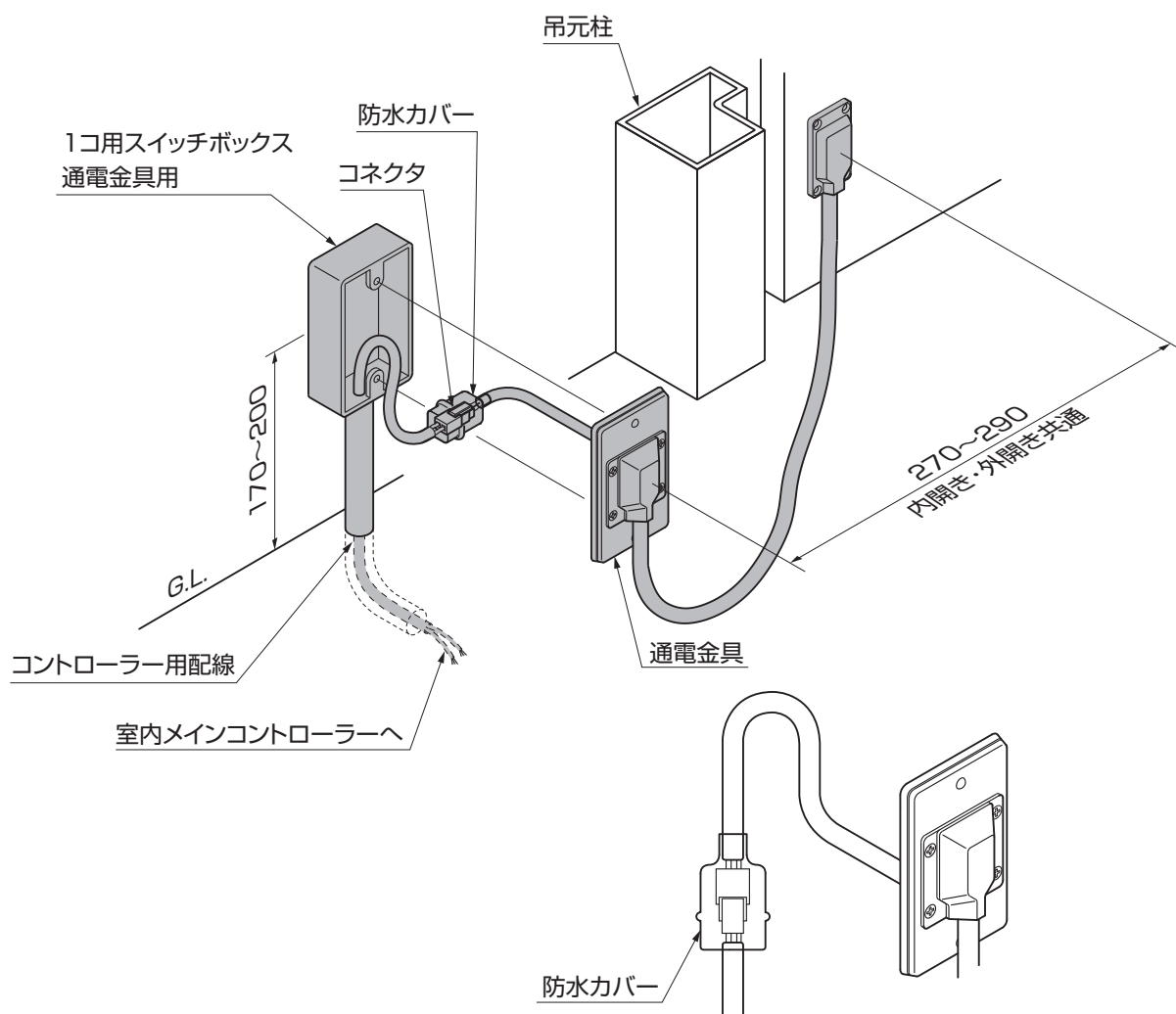


図1-2

- ① 1コ用スイッチボックス通電金具用を図の寸法を参照して取付けてください。
- ② 通電金具のコネクタとコントローラー用配線のコネクタを接続してください。
- ③ 通電金具を1コ用スイッチボックス通電金具用に取り付けてください。

ポイント

- 通電金具側のコネクタに取付いている防水カバーが必ず上側になるようにスイッチボックス内に納めてください。(図1-2参照)

1. (つづき)

1-3 室内メインコントローラーの取付けと配線

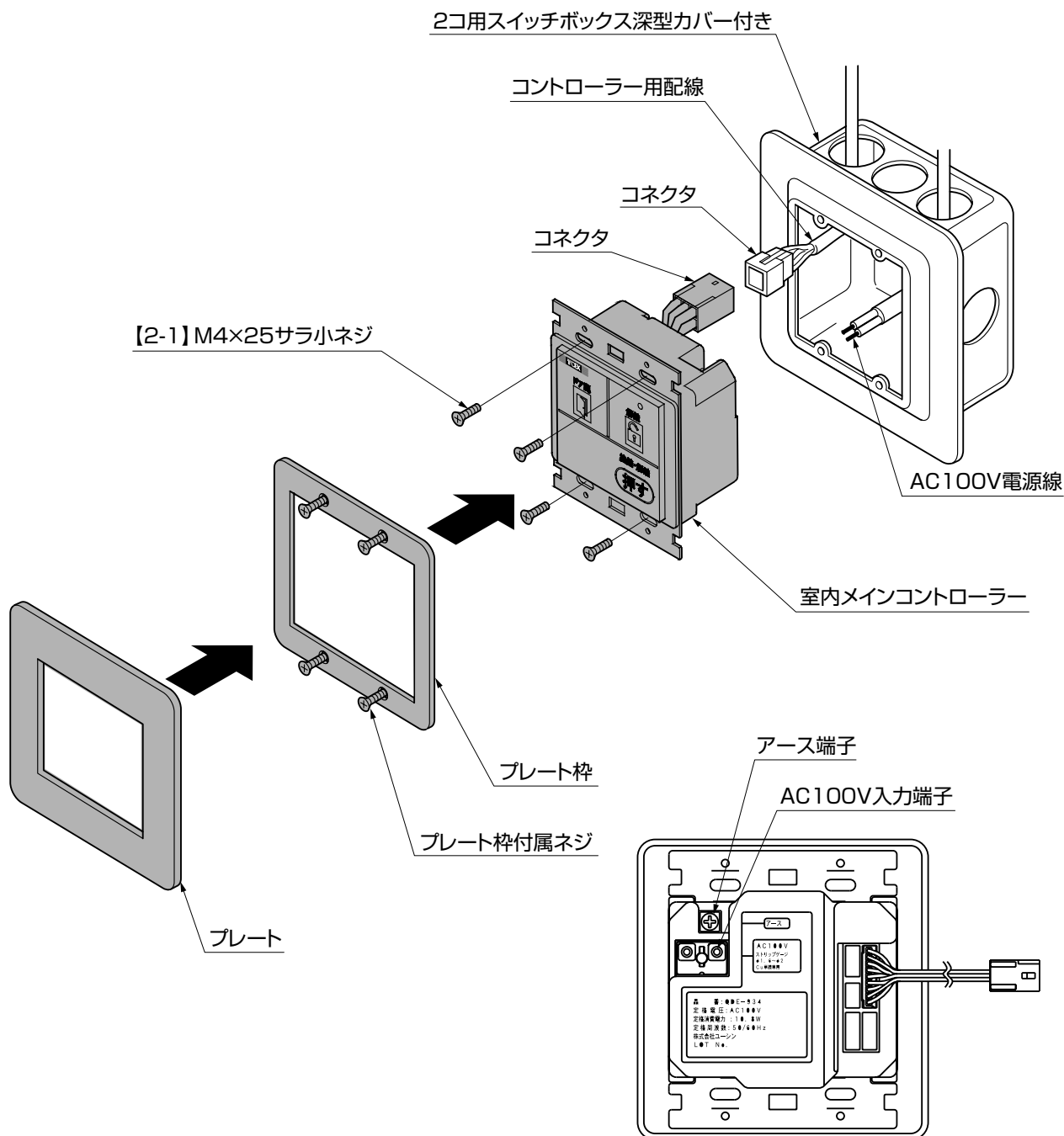
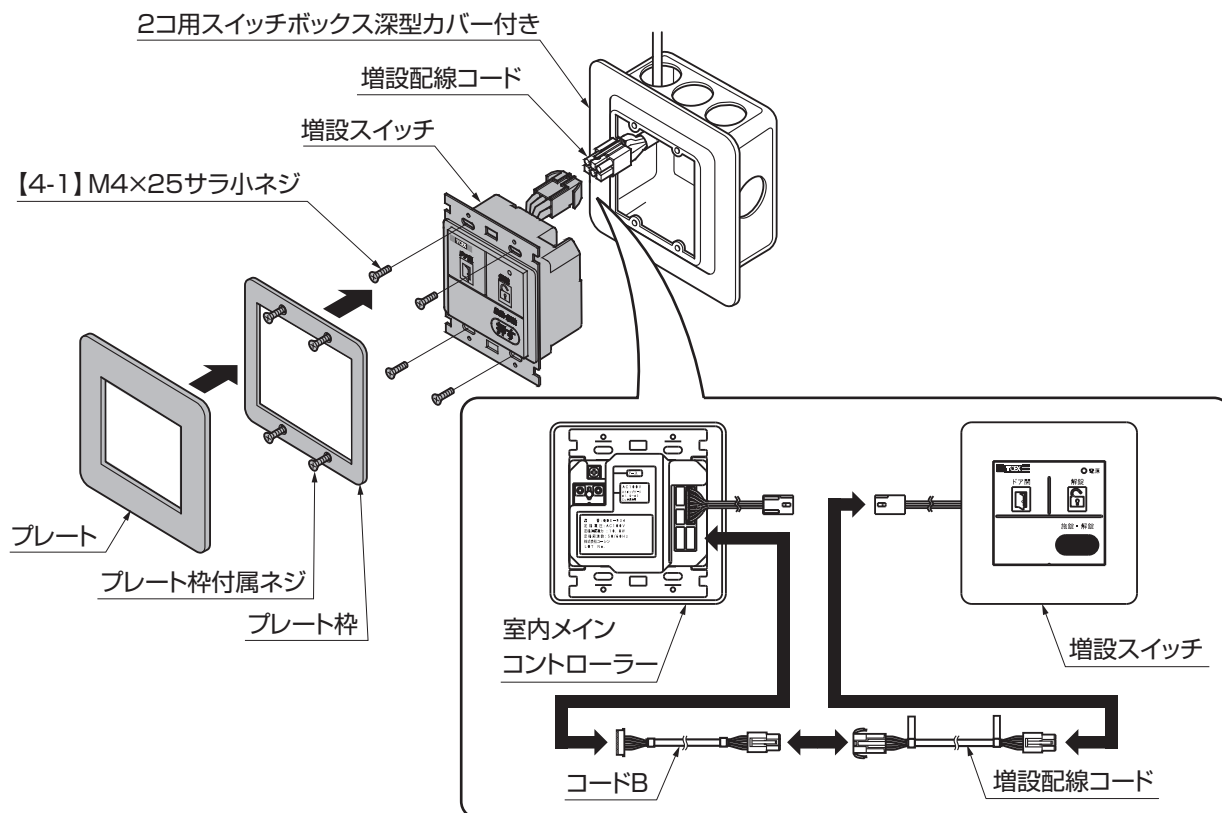


図1-3 室内メインコントローラー裏面

- ①AC100V電源線を室内メインコントローラーの入力端子に接続してください。(図1-3参照)
- ②コントローラー用配線のコネクタと室内メインコントローラーのコネクタを接続してください。
- ③室内メインコントローラーを【2-1】で、2コ用スイッチボックス深型カバー付きに取付けてください。
- ④プレート枠を室内メインコントローラーへ、「プレート枠付属ネジ」で取付けてください。
- ⑤プレートをプレート枠にはめ込んでください。

1-4 増設スイッチの取付けと配線 **オプション**



- ①図のように増設スイッチと室内メインコントローラーの間に、増設配線用コード、コードBを接続してください。
- ②増設スイッチを【4-1】で2コ用スイッチボックス深型カバー付きに取付けてください。
- ③プレート枠を増設スイッチへ「プレート枠付属ネジ」で取付けてください。
- ④プレートをプレート枠にはめ込んでください。

2. 2線配線式の場合の配線

2-1 取付けと配線

補足

- 取付説明書「タッチ&ノータッチキー門扉 ー2線化変換アダプターセットー (T007)」を参照してください。

2-2 電気錠操作ユニットの取付けと配線

補足

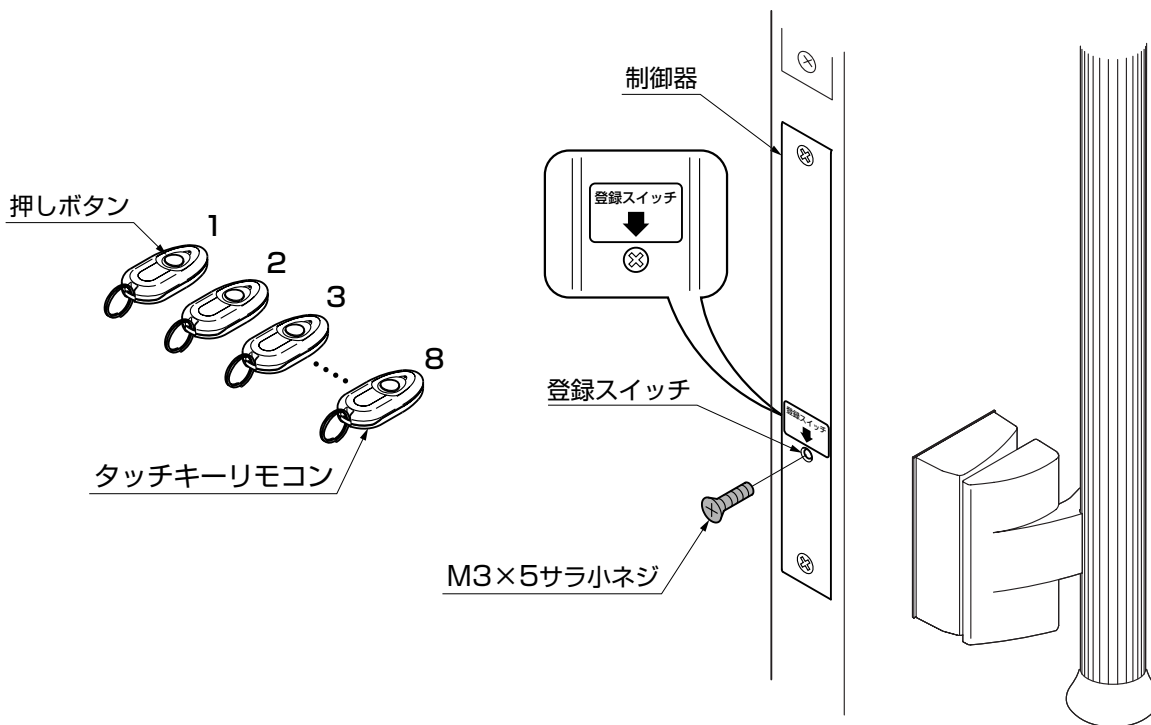
- 電気錠操作ユニットに付属の施工説明書を参照してください。

2-3 電気錠コントローラーの取付けと配線

補足

- 電気錠コントローラーに付属の施工説明書を参照してください。

3. タッチキーリモコンの追加登録方法 **オプション**



ポイント

- タッチキーリモコンは、本体に2個付属しています。付属のリモコンは登録済みです。
- タッチキーリモコンを増やしたいときには追加登録を行ってください。合計8個まで追加することができます。
- 追加登録すると、それまでの登録内容はすべて消えますので、すでに登録済みのタッチキーリモコンも同時に再登録してください。

- ①登録するタッチキーリモコンをすべて用意してください。
- ②扉を開けて制御器の下部にある「M3×5サラ小ネジ」を取外してください。
- ③登録スイッチをつまようじ、ヘアピン等の先の細いものを利用してブザーが3回鳴るまで登録スイッチを押してください。
- ④30秒以内に登録するタッチキーリモコンの押しボタンを押してください。

補足

- 登録したタッチキーリモコンの個数分ブザーが鳴ります。
- ボタンを3秒以上押しつづけると、リモコンの電源が切れます。その場合は「4-3 リモコン本体の電源操作」を参照にして電源を入れてください。

- ⑤30秒後にブザーが鳴り登録終了になります。
- ⑥登録を終了したら取外した「M3×5サラ小ネジ」を取付けてください。

ポイント

- 「M3×5サラ小ネジ」は必ず取付けてください。取付けないと水の侵入により故障の原因になります。

4. タッチキー&ノータッチキー門扉操作の確認

※図はH16を示します。H14にはサブシリンダーは付きません。

4-1 タッチキーモードでの解錠・施錠方法

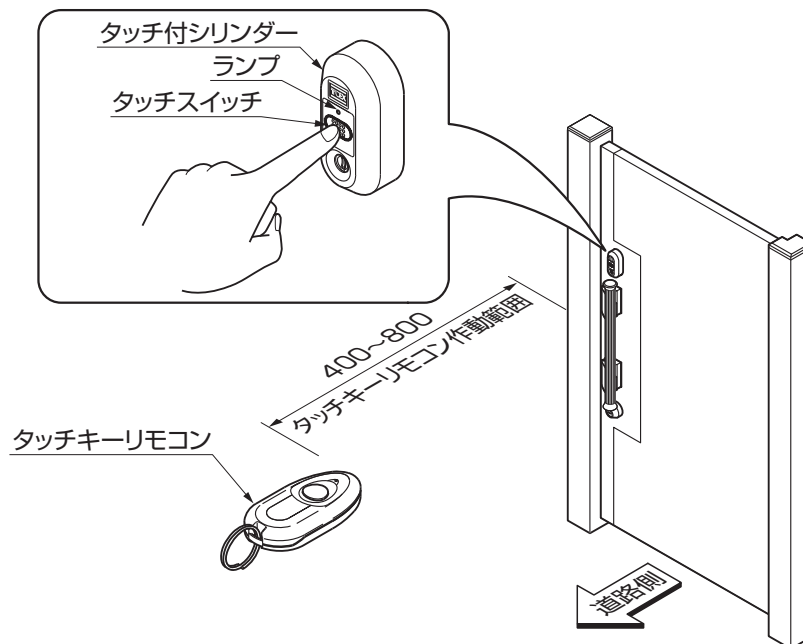


図4-1 解錠方法

ポイント

●タッチキーリモコンを使って門扉を操作する場合、タッチキーリモコンの登録が必要です。

- ①タッチキーリモコンを携帯して門扉から400mm~800mmの範囲でタッチ付シリンダーまたはタッチ付電動サムターンのタッチスイッチを押して門扉を解錠してください。

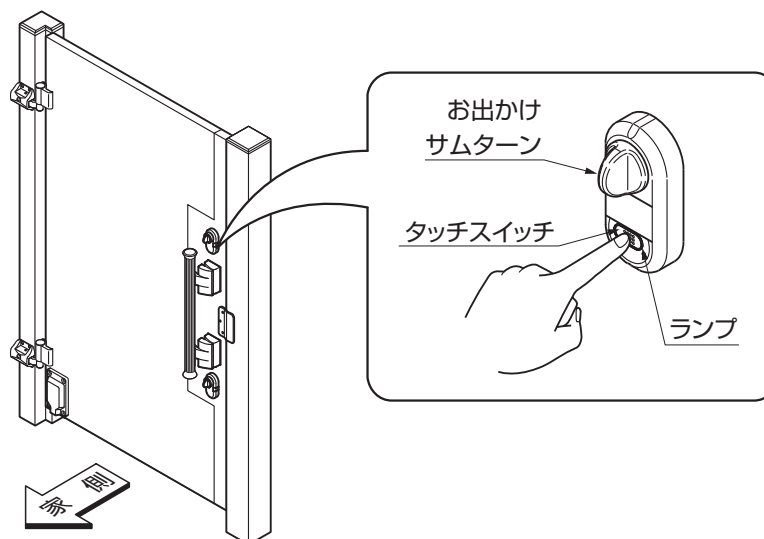


図4-2 施錠方法

- ②扉を開いて、扉を閉めると、1秒後に門扉が自動施錠することを確認してください。

補足

●タッチスイッチにより解錠して、すぐに施錠したい場合は再度タッチスイッチを押すと施錠します。また操作をしなくても、30秒後に自動施錠します。

4. (つづき)

4-2 ノータッチキーモードでの解錠・施錠方法

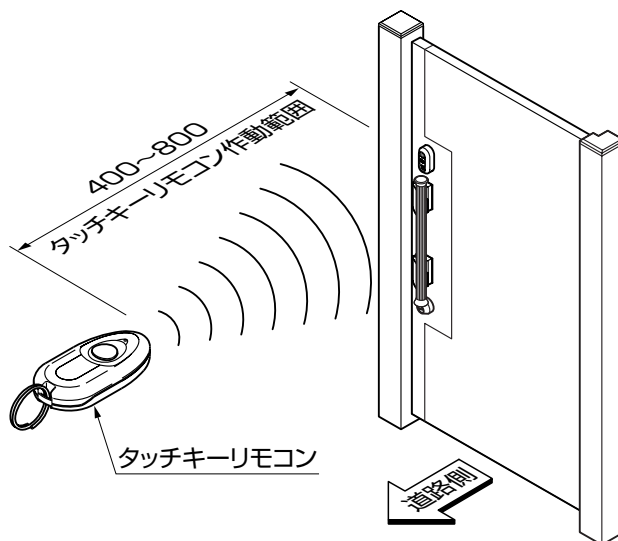


図4-3 解錠方法

ポイント

- タッチキーリモコンを使って門扉を操作する場合、タッチキーリモコンの登録が必要になります。

①タッチキーリモコンを携帯して門扉に400mm～800mm近付いて門扉が解錠することを確認してください。

補足

- 出荷時はタッチキーモードに設定しています。ノータッチキーモードに切替えるには「5.タッチキー／ノータッチキーモード切替確認」を参照してください。
- タッチキーリモコンを400mm以内に近付けると作動しないことがあります但故障ではありません。

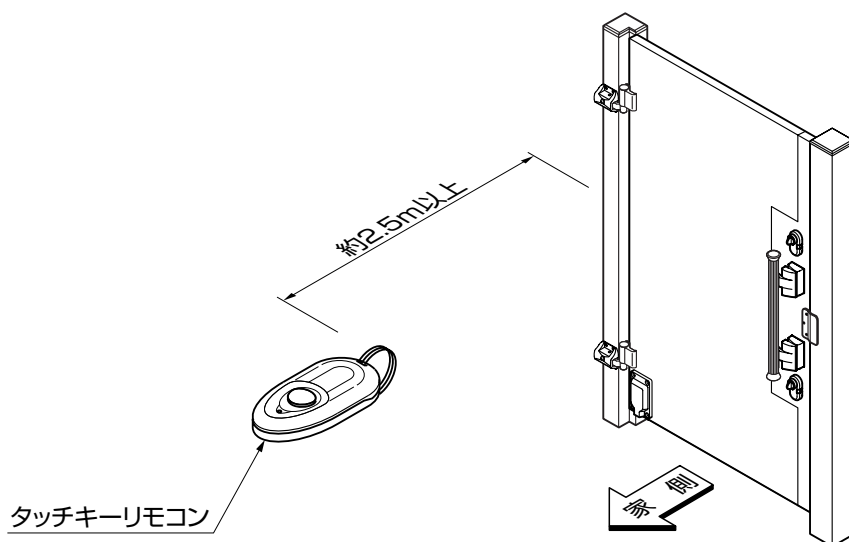


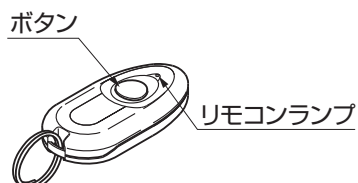
図4-4 施錠方法

②扉を開いた後、扉を閉めて扉から約2.5m以上離れると門扉が施錠することを確認してください。

4-3 リモコン本体の電源操作

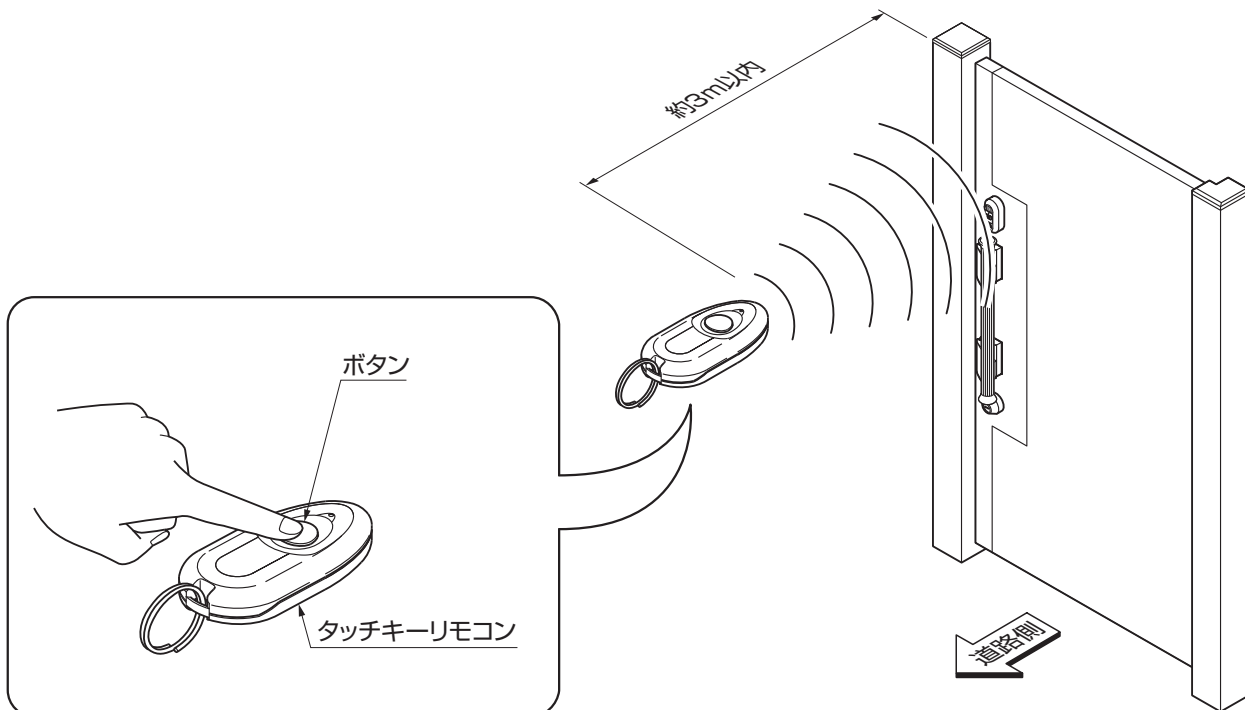
補足

●門扉付近にタッチキーリモコンを保管する場合は、以下の方法でタッチキーリモコンの電源を切ってください。



- ①タッチキーリモコンの電源を切るには、ボタンを押すとリモコンランプが点灯する状態でボタンを約3秒間押し続けてください。リモコンランプが消灯して電源が切れます。
- ②タッチキーリモコンの電源を入れるには、ボタンを押してもリモコンランプは点灯しませんが、そのまま約3秒間押し続けているとリモコンランプが点灯して電源が入ります。

4-4 リモコン機能での操作方法



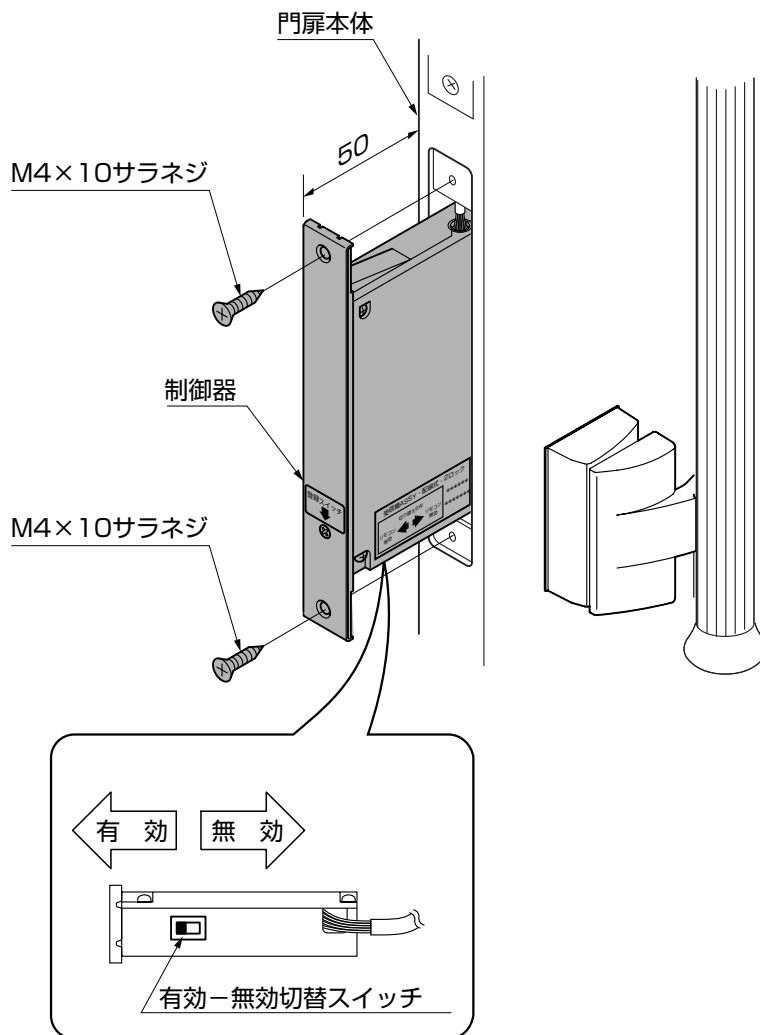
- ①門扉から約3m以内の離れた場所からタッチキーリモコンのボタンを押して、門扉が施錠・解錠することを確認してください。

補足

- タッチキーリモコンのボタンを押して解錠した後にドアの開閉を行わなかった場合、約30秒後に自動施錠します。
- 扉の上または下の錠のどちらか一方が施錠している時、リモコン操作を行うと解錠します。もう一度タッチキーリモコンのボタンを押すと施錠します。
- 近くにテレビ塔や発電所、放送局等の強い電波を発生する設備があるなど周囲の状況によっては作動距離が短くなったり、リモコン機能が使えなくなる場合があります。
- タッチキーリモコンの電波を感知するのは、押しボタンを押した指が離れてからです。

4. (つづき)

4-5 リモコン機能拒否の設定方法



ポイント

- 玄関ドアや他門扉を共通で使用する場合、門扉と玄関ドアまたは、他門扉が近くにあるとリモコン操作ですべての扉が施錠します。その場合は、門扉のリモコン機能を無効にしてください。

補足

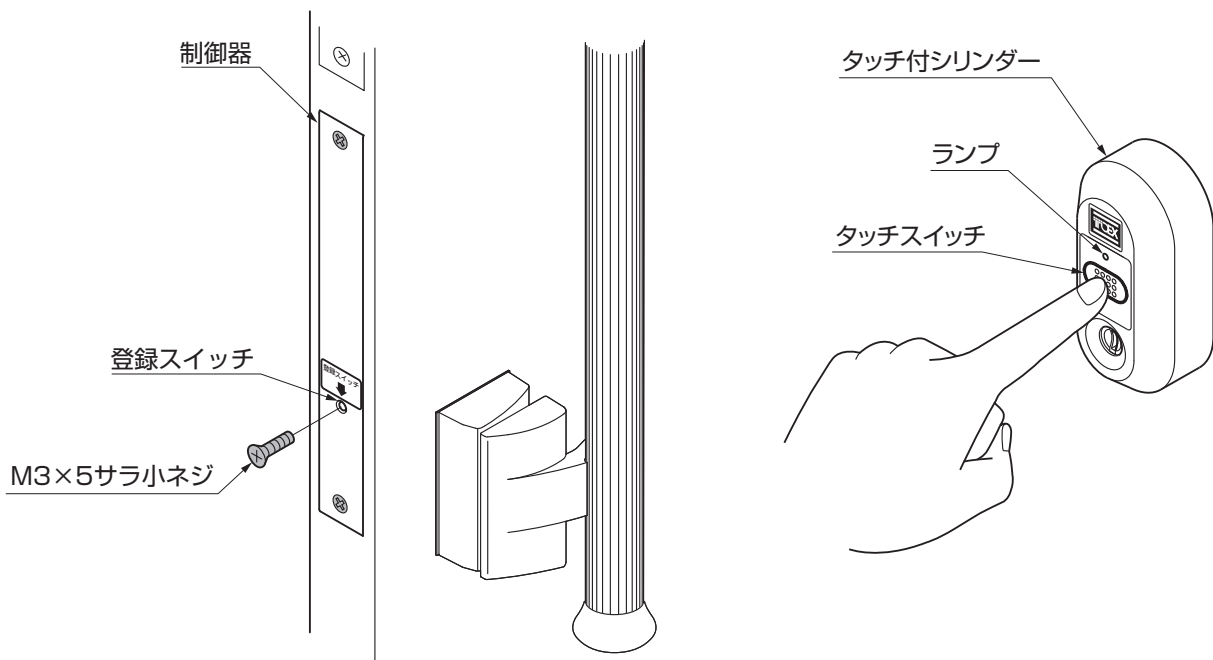
- 出荷時は、リモコン機能は有効になっています。

- ①制御器を固定している「M4×10サラネジ」を外してください。
- ②制御器を50mmほど手前に出してください。
- ③制御器下部の有効-無効切替スイッチを無効にしてください。
- ④外した手順と逆の手順で取付けてください。

ポイント

- 制御器には配線を接続していますので無理に引っ張らないでください。

5. タッチキー／ノータッチキーモード切替確認



🔑 ポイント

- タッチキーモードは、タッチキーリモコンを携帯して、門扉のタッチスイッチを押すと解錠します。
- ノータッチキーモードは、タッチキーリモコンを携帯して、門扉に近付くと解錠します。

✎ 補足

- 出荷時はタッチキーモードに設定しています。

- ①制御器の下部の「M3×5サラ小ネジ」を取外して、登録スイッチをつまようじやヘアピン等の先の細いもので押してブザーが3回鳴ることを確認してください。
- ②30秒以内にタッチスイッチを押してください。
- ③終了したら取外した「M3×5サラ小ネジ」を取付けてください。

✎ 補足

- タッチキーモードからノータッチキーモードの切替の時には、制御器のブザーが2回鳴り切替が完了します。
- ノータッチキーモードからタッチキーモードの切替の時には、制御器のブザーが1回鳴り切替が完了します。
- タッチキー／ノータッチキーモードの切替は反転になります。

6. 電気錠の操作確認

6-1 配線式の場合

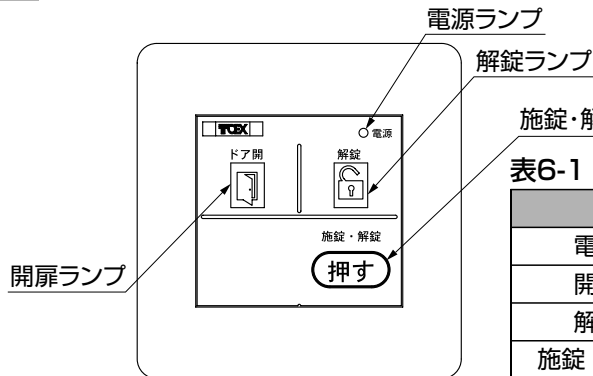


表6-1 各ランプ・ボタンのはたらき

名称	操作・表示
電源ランプ	電源が入ってる時に点灯します。
開扉ランプ	扉が開いてる時に点灯します。
解錠ランプ	扉が解錠している時に点灯します。
施錠・解錠ボタン	扉を施錠・解錠する時に押してください。

補足

- 室内メインコントローラーを使用することで、室内から門扉電気錠の施錠・解錠を行うことができます。
- 開扉ランプが点灯している場合は、施錠・解錠の操作はできません。

①室内メインコントローラーの施錠・解錠ボタンを押してください。

補足

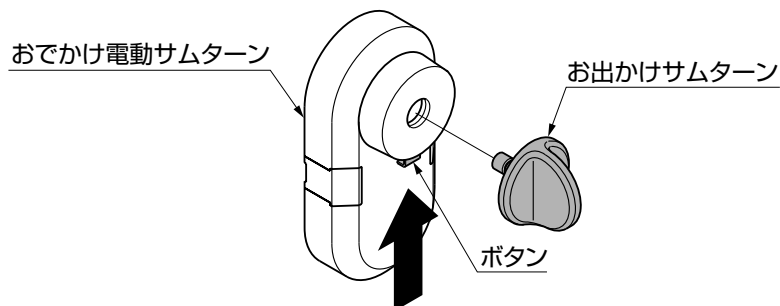
- 門扉を解錠した後、門扉の開閉を行わなかった場合は、約30秒後に、自動施錠します。
- 門扉の上の錠または下の錠のどちらか片方しか施錠していない場合は、解錠を行います。
- オプション設定の増設スイッチも室内インコントローラーと同じ操作・表示をします。
- 施錠・解錠ボタンを押した直後にもう一度施錠・解錠ボタンを押しても作動しません。

6-2 2線配線式の場合

補足

- 電気錠操作ユニットまたは電気錠コントローラーに付属の取扱説明書を参照してください。

7. お出かけサムターンの取付け・取外しの確認



- ①お出かけサムターンを取外す時は、ボタンを押しながらお出かけサムターンを引張ってください。
- ②お出かけサムターンを取付ける時は、ボタンを押しながらお出かけサムターンを差込んでください。

補足

- 施錠・解錠を家側から手動で行う場合は、お出かけサムターンにより操作可能です。
- お出かけサムターンにより解錠した場合は、自動施錠は行ないません。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

